

地域づくり

今回のテーマは・・・

みどりとまちづくり



公園が変わると地域も変わる

公園からのまちづくり

皆さんの住まいの近くにある公園はどのような様子でしょうか？

「子どもが元気に遊んでいる」、「様々な年代の人がくつろいでいる」、「ウォーキングを楽しんでいる」、「いつ行ってもごみがほとんど見られない」といった公園でしょうか？

それとも、「公園に来る人が少ない」、「落書きが多く、いつ行ってもごみが散乱している」ということはありませんか？

「公園は地域の鏡」と言われることがあります。活発な活動を行っている地域、住民が愛着を持っている地域の公園は、公園に多くの人が集い、そして、きれいに手入れされている傾向が見られます。これは、地域の皆さんが公園に関心を持ち、日常の清掃や見守りを行っているからと言えます。

ある区では、清掃や除草などの活動が大変だからということでは

公園の手入れをやめたところ、公園にゴミのポイ捨てが増え、あちこちにごみが散乱。そうすると、夜間にたむろする青少年が増え、落書きや施設の破損が増え、昼間には子どもたちが寄り付かず、さらには地域全体も荒れてきてしまつた：と悪循環に陥つた地域があります。「これではまずい」と再び公園の手入れを積極的に行つたところ、公園がきれいになるだけではなく、地域も落ち着いたそうです。

まさに公園は地域の変化を写しだす鏡なのです。多くの公園には公園愛護会があり、日常の手入れをしていただいています。このように、みんなで一緒に行う活動も大切ですが、公園のベンチで涼んだ帰りがけに落ちていたごみを一つ拾うというだけでも、小さいですが大切な「公園からのまちづくり」の一步なのではないでしょうか。

筆者の

ひとりごと



瀬谷区大好きな筆者

地域で様々な活動をされている方向けの講座で、どのように活動をするか効果的なものが、活動の参加者をどうやって増やすのかというお話をする必要があります。話の最後は、下に書かれた「良いまちとは」という言葉でまとめていきます。

1月発行のこの通信で、「高齢化してもみんなで行けることを少しずつ出し合えば、いろいろな活動ができる」という記事を書きました。それを読まれた方から、「一人暮らしになったり、家族の介護が大変になると活動をしたいけどもできなくなる人が多くなっている」というお電話をいただきました。ご自身も以前は地域の活動を主体的に行っていたそうですが、現在は身の回りのことで精いっぱいになっているとの事でした。確かに、自分の生活があったうえでの地域の活動でもあるといえます。

一方で、区内で行ったある講座で、高齢者の研究を行う研究者の方が「ご自身やご家族の事情で地域の活動に参加できないということをよく耳にしますが、散歩や買い物に出かけた際に、道端に落ちているごみを一つ拾うだけでも立派な地域活動だと思いますよ」とお話しされていたことがあります。

下の言葉の中でも、「参加しない人、参加したくてもできない人を評価」とありますが、参加できなくても、こうやって思いを持って電話をかけていただくことも、活動している人に「ありがとう」、「ご苦労様」と声をかけていただくことも、どちらも立派な地域活動ではないのでしょうか。

良いまちとは、

住んでいる人が自分のまちを好きだと思うまち

良いまちにするために多くの人がまちの活動にかかわっているまち

そのまちの活動内容は多彩

その活動への参加手法・度合いもさまざま

参加手法や度合いの違いに優劣はなく、お互いの活動を認め合う住民がいるまち

参加しない人、したくてもできない人も否定しない、彼らをできる限り評価する住民がいるまち



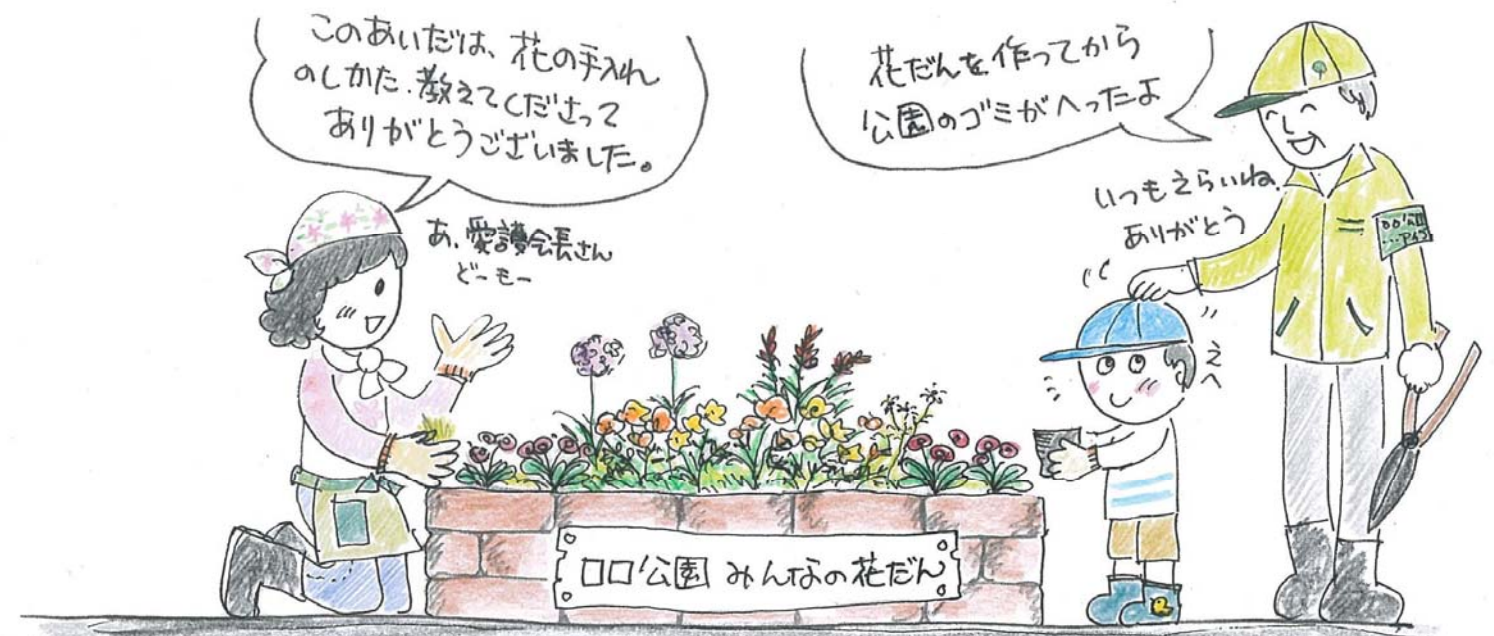
第33回全国都市緑化よこはまフェアを開催します！

開催期間：平成29年3月25日（土）～6月4日（日）



©ITOON / GN2017

横浜市が先進的に行ってきた緑の取組の成果をアピールし、「美しい花と緑豊かなまち横浜」を発信していきます。メイン会場の1つである、よこはま動物園ズーラシアに隣接する「里山ガーデン」では、大都市でありながら緑が多く残っている横浜の特徴を生かした、森の様々な楽しみ方が体験できます。ぜひ全国都市緑化よこはまフェアにお越しください。瀬谷区でも緑化フェアのPRにつながる事業を予定しています。



瀬谷区承認第15号

イラスト：中村明世

問合せ先

瀬谷区役所 地域振興課 地域力推進担当
TEL：045 (367) 5789 FAX：045 (367) 4423
〒246-0021 横浜市瀬谷区二ツ橋町190番地 発行／平成28年7月

みどりなのが

近所の皆さんで♪花や緑による美しい街並みづくり

瀬谷区内を歩くと、一戸建ての庭や、集合住宅の敷地にある花や樹木が、まちに彩りを添えています。さらに美しい街並みにしていくためには、隣近所の皆さんと声を掛け合って空き地に花を植えたり、家の前に同じ花を植え、街並みの統一感を高めることなどがオススメです。

「街並みに合った植物は何か」、「花の手入れをどのようにやると良いか」など、隣近所の皆さんと話をし、一緒に作業をすることで、よりコミュニケーションが図れるとともに、お年寄りや、子どものさりげない見守りもでき、より良い近所づきあいが進むのではないのでしょうか。

ご自慢の庭を皆さんにオープン！

綺麗に手入れしているお庭。これだけ手入れされているのであれば、ご家族だけで楽しむのはもったいない！そこで、隣近所の皆さんをはじめ、地域の皆さんにも見ていただくのはいかがでしょうか。「〇〇さんのお庭、外から見ると、いつもきれいに手入れがされているけど中から見たらもっと綺麗に見えるかなあ」なんて思っている人が、きっといるはず。そんな花や木が好きな人たちをお庭に招いたり、ほかの人のお庭を訪問することで、花や緑を通じた付き合いが広がります。

瀬谷区では、心をこめて手入れをされた庭や地域の花壇を紹介する「瀬谷オープンガーデン」への参加会場を募集しています！

(募集期間：7月1日(金)～11月30日(水))

「瀬谷オープンガーデン」で検索

問い合わせ先：企画調整係(TEL:367-5631)



イラスト： 中村明世

森と川、まちのつながり

～三ツ境駅にオオタカ～

瀬谷区には、瀬谷市民の森をはじめとした森がところどころに残されています。かつては、このような森や畑、田んぼ、川といった里山の風景が見渡す限り広がっていましたが、今はそのほとんどが住宅地として開発されたため、上空から見るとこれらの森はぽつんと残されているようにも思えます。しかし、実は現在でもこれらの森と公園、畑、住宅地の緑は密接につながっています。例えば、三ツ境駅の歩道橋から上空を眺めると、一時期は絶滅が危惧された、森をねぐらにするオオタカが飛んでいる姿を目にすることができます。何でこんな住宅地に？とも思われるかもしれませんが、家の庭にも飛んでくるハトやムクドリなどの鳥を捕まえるために飛んでいるのです。住宅地の緑も、オオタカの生活を支える重要な役割を果たしていると言えます。

～和泉川にはカワセミ～

瀬谷市民の森に降った雨は、瀬谷を南北に流れる和泉川の源流となり、和泉川の清流にはアブラハヤなどの魚がたくさん泳いでいる姿を目にすることができます。さらに、遊歩道の手すりには小魚を捕まえるために身構えているカワセミも見ることができます。カワセミは一日で小魚を20匹も食べると言われており、この大食漢のカワセミを養うだけの豊かな環境が瀬谷区には整っています。

このように皆さんの庭の手入れや森や公園、川の管理がさまざまに組み合わせることで、生き物が暮らしやすい環境が作られるだけでなく、皆さんの生活を彩り、さらにはこれらを舞台にした活動を通じて地域のつながりを高めることができます。



獲物を狙うカワセミ(和泉川)

関連する取組リスト

公園愛護会：公園の清掃や花壇作りなど公園の魅力を高めるために地域住民で結成された団体です。

市民の森、ふれあいの樹林：樹林地の減少を防ぎ、良好に保全するための横浜市独自の制度です。

地域みどりのまちづくり：横浜市では、横浜みどり税を活用し、「みどリアップ計画」の「地域緑のまちづくり事業」により、まちぐるみで緑化を進める取組を支援しています(なお、28年度の募集は終了しています。)

→「地域緑のまちづくり」で**検索** 問合せ先：環境創造局みどリアップ推進課(TEL:671-2688)

育苗センター：ボランティアの皆さんで花苗やゴーヤの苗を育て公共施設の緑化に役立てていただいています。

ボランティア募集中(活動日：第1・第3木曜) 問合せ先 企画調整係(TEL:367-5632)



国土交通大臣表彰を受けた、三ツ境公園愛護会が手入れをする花壇です。地域の皆さんの愛情が伝わってくる、とっても素敵な公園です！

